

# 市政を問う 代表質問

市長の選挙に伴い、12月定例会議では、各会派を代表した議員により代表質問が実施されました。

真政会、市民21、公明党、日本共産党、創政クラブ結、社民党・護憲連合の会派順に6人の議員が登壇し、市長の政治姿勢や基本理念、復興に向けた取り組みなどに対する質問を行い、答弁がなされました。

真政会 小松 良行

## 市長としてのリーダー像と 市政執行の基本方針等について

**問** 多くの市民は新市長に対し、創造的革新精神に基づく政策手腕によりスピーディーな問題解決に挑み、真のふくしまの復興と将来に夢が持てる活力あるまちへの発展に導く強いリーダーとして期待を寄せているが、市長が目指す理想とするリーダー像や市政執行の基本方針及び政治理念を伺う。

**答** 政治理念については「開かれた市政」と「スピードと実行」を基本方針として、市民の皆様のことをしっかりと受け止め、その意見を政策に反映させ、着実に実行することである。

そのためには、最大の政策資源である職員の知恵と行動力を十分に活用

することが必要である。そして、何事にも「道は拓ける」を信条として、国家の隆盛のために身を粉にして働いた諸葛孔明のように、福島市のために全身全霊で取り組んでいく。



### その他の主な質問

- ① 農業や観光の風評払拭等イメージアップの取り組みについて
- ② 待機児童解消に向けた官民対策会議の設置時期や期間、委員構成について
- ③ 市立小中学校の統廃合を含めた適正規模・適正配置の制度設計について
- ④ コンベンション機能の強化や公共施設の複合化再整備等に係る戦略的整備計画の早期策定について

市民 21 高木 克尚

## パラリンピックの感動を 教育に生かすことについて

**問** 偏見や差別をなくす社会が成熟しつつある現代社会にとってパラリンピックは大きな存在であり、共存できる豊かな将来を築いていくべき子供たちの教育活動に生かすことが大切であるが、見解を伺う。

**答** パラリンピックは、子供たちに勇氣と感動を与えるものであり、平成32年度からの新小学校学習指導要領においても、オリ

ピック・パラリンピックを生かし、スポーツの意義や価値等に触れることが示されている。パラリンピックがもたらす感動を子供たちが共有できるよう、各学校においてライブ映像をはじめとした多様なメディアを活用するなどの創意工夫を図り、教育活動の中に効果的に生かしていく。



### その他の主な質問

- ① 市長が思い描く「風格ある県都ふくしま」の方向性について
- ② 待機児童解消に向けた官民対策会議に保育士の意見を反映することについて
- ③ 振り込め詐欺等に対抗するための条例制定について
- ④ 詐欺、脅迫等から行政組織を守るための市長の毅然とした対応について

公明党 須貝 昌弘

## 航空教育と航空宇宙産業育成への 支援と取り組みについて

**問** 復興と創生に立ち向かう市民に大きな夢と希望と勇氣を与えてくれた室屋義秀選手は、航空宇宙産業の育成を支援しながら、人材発掘に注力していきたいとの考えを示しているが、青少年向けの航空教育と航空宇宙産業育成に対する本市の支援と取り組みについて伺う。

**答** 航空宇宙産業は、市場拡大が見込まれる成長産業であり、本市には小惑星探査機の製造に関わった情報通信機器メーカーや航空機用部品の納入実績がある金属加工メーカー等が立地していることに加え、新型軽飛行機の研究開発を行う企業によるふくしまスカイパーク内への拠点整備も進んでおり、新たな雇用創出や地域経済の活性化につながるものと期待している。

また、室屋義秀選手が表明している航空教室の取り組みは、本市の将来を担う子供たちの夢や希望を育むとともに、航空宇宙産業を支える人材育成に資するものであり、産学官の連携を図りながら、今後どのような支援ができるか検討していく。

### その他の主な質問

- ① 「観光先進地・東北」実現のための取り組みについて
- ② 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラムの取り組み方針と進捗状況について
- ③ 子供の平和教育推進のため「青い目の人形展」を開催することについて
- ④ 救命率向上に向けたAED(自動体外式除細動器)の屋外設置について

